

令和元年度 第4回SD研修会報告（FD・SD学園合同）

内 容	建学の精神「礼節・勤労」を踏まえた教育実践
日 時	令和元年9月18日（水）14:00～16:30
場 所	宮崎学園短期大学 国際交流センター
進 行	本部 東係長 宮崎国際大学 相戸晴子先生 Rebecca Schmidt 先生
出席者	Faculty 30人、Staff 12人 （別紙参加者名簿）
議 事 内 容	
<p>別紙令和元年度第6回宮崎学園FD・SD合同研修会（当日資料）のタイムテーブルに従い研修会が進行された。</p> <p>本日の研修会は、教職員が日々の教育活動や業務の中で「礼節・勤労」をどのように実践しているかということについて、成功例・失敗例などを共有することによって、取組の充実を図ることを目的としている。</p> <p>1. 最初に山下理事長より、今までの宮崎学園合同研修会の内容や本学園の歴史について振り返りを行い、本日のテーマである「礼節の精神」と「勤労の精神」の解釈と研修目的などについて話された。</p> <p>2. 研修内容（タイムテーブル）の流れ</p> <p>①(1)清武みどり幼稚園(2)宮崎学園中学校・高等学校(3)宮崎学園短期大学(4)宮崎国際大学の順番で事例発表（別添資料を参照）を行う。</p> <p>②発表終了後に全体会での質疑応答を行う。</p> <p>③その後各グループで協議を行い、テーブルに置いてあるワークシートに「良かった点」「課題について」記入を行う。</p> <p>④最後の全体会で各グループを代表し、各学校等に対し1グループのみが協議内容を紹介する。</p> <p>⑤最終的には、全グループの内容を取りまとめたものを本部から各学校等にフィードバックする。</p> <p>※各グループにおいては、「礼節・勤労」について多くのことが議論された。児童・生徒・学生に「礼節・勤労」をどのように伝えているかの現状や、これからの伝え方について多くの考え方が述べられた。</p> <p>3. 司会進行の相戸先生より、発達段階の異なる各学校種の事例発表を聞き、先生方がその段階に見合った「礼節・勤労」の促し方などを工夫されて取り組んでいることがよくわかり勉強になった。価値観の違いや異文化の生活の中でも一生懸命考えながら取り組んでいるところなどが良かったと、本日の研修会の感想を話された。</p> <p>4. 最後に山下理事長より、本日の事例発表で、幼稚園から大学までそれぞれ「礼節・勤労」の本質が同じだと感じた。発達段階に応じてどうしていくのかと、その時期に応じて必要なことを考えていくことが大事である。「礼節・勤労」の本質を追求し続けることが理事長の役目であることなどを話された後、本日の研修会に参加された教職員に対し謝意を述べられた。</p>	